

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3年 5月
事業所名 きつざぼーんじにわ

	チェック項目	はい	一部は はい	いいえ	工夫している点	詳細や改善すべき点を記載した 評価内容又は改善項目
環境 体制 整備 設備	1		○			
	2		○			
	3		○			・知的障害、発達障害の児童の利用が主であるが、設備等のバリアフリーは最良となっている。
	4		○			
	5		○			
	6		○			
	7		○			
	8		○			
	9		○			
	10		○			
	11		○			
	12		○			
	13		○			
適切な 支援 の提供	14		○			・1対1の個別活動が中心であるが、集団活動を行う場合は、チームでプログラムの立案を必ず行っている。
	15		○			
	16		○			・1対1の個別活動を中心にしているが、集団活動の時間はほとんどない。
	17		○			・1対1の個別活動が中心であるが、集団活動を行う場合は、必ず役割分担等の確認を行っている。
	18		○			・1対1の個別活動を中心にしているが、集団活動を行う場合は、必ず行っている。
	19		○			
	20		○			
	21		○			
	22		○			
	23		○			
	24		○			
	25		○			
	26		○			
関係 機関 や 保護 者 と の 連携 協 働 関 係 の 確 立 等	27		○			
	28		○			
	29		○			
	30		○			
	31		○			・ペアレントトレーニングの研修実施。(今年度はコロナのため中止) ・通育所の保護者とのやり取りの中で、子どもの関わりについて相互助言を行っている。
	32		○			
	33		○			
	34		○			
	35		○			
	36		○			
	37		○			
	38		○			
	39		○			
保護 者 へ の 説明 員 等	40		○			
	41		○			
	42		○			
	43		○			
	44		○			
	45		○			
	46		○			
非常 災害 の 対応	47		○			
	48		○			
	49		○			

○この児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)は事業所全体で行った評価です。